

		5 歳 児										1 年 生																			
時 期		4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3										4 ・ 5 ・ 6 ・ 7					8・9・10・11・12					1 ・ 2 ・ 3									
期待する子ども像		人と関わりながら気付き、考え、主体的に学ぶ（遊ぶ）子ども										～経験を積み重ね、自信をもちチャレンジする～																			
幼児期 の 終わり までに 育てて ほしい 姿	自立心	・5 歳児になった喜びを感じ意欲をもって自ら環境に関わろうとする					・試したり工夫したりを繰り返し、自分なりに最後までやり遂げようとする ・しなければならぬことがわかり、自分の力で活動を進めようとする					・遊びや生活に見通しをもち、友達と共通の目的に向かって取り組む ・あきらめずにやり遂げることで、自信をもって行動するようになる。					・1 年生になった喜びを感じ、新しい環境や学習に自ら関わろうとする					・目標をもって繰り返し挑戦し、友達との関わりの中で達成する喜びを感じる ・学習や生活の見通しをもち、自分でできることは自分でしようとする					・よりよくするために考えたり工夫したりしてやり遂げた達成感を味わい、自分の力を発揮しようとする ・成長した自分に気付き、自信を深める				
		「おもしろそう」「どうすればいいかな」「こうやったらどうなるかな」「もう1かいやってみよう」「やってみたいな」「これをつかってみよう」「こうするともっといいかも」「みんなでやるともっと楽しいな」「楽しみな」「園と同じだな」「どうすればいいの」「もう少しやってみる」「こんどはこうしてみたいな」																													
大切にしたいこと	先生の 関わり	1 受容的・共感的な関わりを通して信頼関係を築き、安心感がもてるような声かけをする 2 やってみたい気持ちが高まったり自分で考えたりしたくなるような遊びのきっかけづくりをする 3 子どもの思いを大切にし、自分から挑戦して最後までやり遂げる経験ができるよう見守り励ます 4 子どもの困り感に気付き、困った時の対処の仕方を増やせるように働きかける（相談する、もう一度やってみる、助けを求める、など） 5 友達との関わり・励まし・支え合いの中で活動できるよう子ども同士の仲立ちをする 6 多様な他者と共に遊びを進めていけるよう援助をする 7 子ども自身の自覚や気付きを促すよう関わる																				1 園生活での経験を引き出すような声かけをする 2 タイミングを逃さずほめたり認めたりする声かけをする 3 やってみたい気持ちになるような学習活動のきっかけづくりを行う 4 主体的に取り組むために、活動の仕方やゴールの見通しをもつことができるよう働きかける 5 子どもの困り感に気付き、受け止め、一緒に考えることにより、子ども自身が自分で選んで行動できるようにする 6 自分たちで考えたり必要感をもってルールを作り出したりできるように関わる 7 学習活動に没頭できるよう見守り、必要に応じて声かけをする									
		「どうしたいの?」「いい考えだね」「おもしろいね」「どうしてだろうね」「次もできそうだね」「〇〇さんがやっていたよ」「どうやったの?」「だいじょうぶだよ」「やってみる?」「次はどうする?」「がんばったね」「工夫したね」「園ではどうやっていたの?」「どうしたらいいと思う?」「〇〇さんに聞いてみる?」「自分でできたね」																													
	環境づくり	1 自分の活動を選んだり自分で考えたりなど、子どもの心が動くよう用具・素材・配置などを工夫する 2 自分なりのやり方で試したり繰り返したりして取り組むことができる場・時間などを工夫する 3 自分でわかって行動できるように、写真や絵カードなどで視覚的に示す 4 自分の思いを伝えたり話し合ったりできる場を工夫する 5 満足感や達成感を共有したり次への意欲を高めたりできるような振り返りの場を工夫する 6 友達と協力して共通の目的に向かう楽しさや達成感を感じることができる活動や場を工夫する 7 子どもの活動や心の動きに沿って環境を再構成し、主体的に遊ぶことができるようにする 8 友達との関わりを通して、友達の姿に気付いたり挑戦する意欲をもったりできるような活動や場を工夫する																				1 学習のきっかけが生まれる環境づくりを工夫する 2 子どもが思いや願いをもち、その実現に向けて試行錯誤できる学習活動の充実を図る 3 学習活動や生活の見通しをもち、自分の力で取り組むことができるようにする 4 自分の役割を自覚し、意欲的に取り組むことができるようにする 5 目標や振り返りを可視化し、自分の成長に気付くことができるようにする 6 自分たちで解決できる場面や時間の設定を工夫する 7 これまでに身に付けた力を生かして活動できる場や、つながりのある学習活動を工夫する 8 自己選択や自己決定ができ、自分で行動できる学習活動の進め方や場の工夫をする 9 友達との関わりの中で認め合える場の設定や、安心感のもてる学級の雰囲気づくりをする 10 合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の工夫をする									
予想される園での活動（例） 大切にしたい経験（例） 生活科を中心とした主な単元（例） 他教科との関わり（例） 当番活動 自然物を 使った遊び 水砂泥を使 った遊び お店屋さ んごっこ お祭り ごっこ 身体を使った遊 び・戸外遊び ルールのある集団 遊び・運動遊び 表現・リ ズム遊び 正月遊び 雪遊び 健康 人間関係 環境 言葉 表現 体を思い切り動かす 自分のやりたいことを見つける 試す・工夫する 本物らしさの追究 自分の言葉で伝える 心が動かされる体験 役割分担をする 思いのぶつかり合いと折り合い 認めたり、認められたりする 自分でしなければならぬことへの自覚をもつ 数量や文字への関心の広がり 言葉の響きや親しみリズムに親しむ 仲間と力を合わせる ルールを考える 目的を共有し取り組む 相手の話に興味を持って聞く 見通しを持って行動する 人の役に立つ喜びを味わう 体験したことを表現する スタートカリキュラム 生活科を中心とした主な単元（例） どきどきわ くわく1ね んせい がっこう だいすき はなをさか せよう なつがやっ てきた いきものと なかよし たのしいあき いっぱい じぶん でできるよ ふゆを たのしもう もうすぐ2年生 なんばんめ(算数) おおきくなった(国語) げんきでねあげは くん(道徳) さわりごちほは けん(図工) しらせたいな見 せたいな(国語) がっきとなかよく なろう(音楽) じぶんのことはじ ぶんで(特活) 雪遊び(体育) かかりのこうたいをしよう(特活) ありがとう6年生すん でぞうじをしよう(特活) 他教科との関わり（国語・算数・音楽・体育・図工・道徳・特別活動）（例）																															
園小交流・連携（例）		保幼小連携研修 (ブロック会議) 地域の園小合同会議 幼児と児童の交流会 地域の幼児同士の交流会 保育参観・協議 保育・授業体験 交流会の打合せ・振り返り アプローチ参観・協議 引継ぎ連絡会										保幼小連携研修 (ブロック会議) 地域の園小合同会議 幼児と児童の交流会 スタカリ参観(情報交換) 授業参観・協議 保育・授業体験 交流会の打合せ・振り返り 引継ぎ連絡会																			
家庭や地域への働きかけ(例)		・お便り、ドキュメンテーション等の活用により、幼児の学びの姿（幼児期の終わりにまでに育ててほしい姿）を発信する ・ニコニコせんせい体験 ・参観日、懇談会 ・ニコニコチャレンジの取組										・学年通信等で、スタートカリキュラムを通して大切にしたいことを家庭に発信する ・通信や掲示等で写真を活用しながら、児童が自己を発揮し学ぶ姿を発信する ・授業参観、懇談会																			
家庭や地域の関わり		・子どもとのふれ合いを大切にする（家族で食卓を囲む・読み聞かせ等） ・子どもの声に耳を傾け、共感的に受け止めながら聞く。 ・子どもの意欲を大切にし、体験や経験の機会をつくる。 「お話を聞かせて」「たのしそうだね」「そんなことがあったんだね」「よく話してくれたね」「話してくれてありがとう」「また聞かせてね」「それが得意（好き）なんだね」「頑張っているのを見ていたよ」「今度やってみようよ」																													